



農林水産省「稲
発酵粗飼料生
産・給与技術マ
ニュアル」に掲載
された農薬です。
(移植水稻のみ)

やっかいなノビエにも 一発! 3成分でぶちかます!

話題の
豆つぶ[®] 製剤
が登場!



豆つぶ[®]なら

無人航空機でも
散布できる!



豆つぶ[®]なら

10アールに250g
だけで省力的!

豆つぶ[®]なら

自分で広がる
自己拡散製剤!

3つの優れた除草成分が、
そろい踏み!

新成分

フェノキサスルホン

ベンスルフロンメチル

プロモブチド



ノビエ



ホタルイ



ミスガヤツリ



コナギ



アゼナ

厄介なノビエやSU抵抗性ホタルイ等、
問題雑草も難なく叩く!

3成分配合によるパワフル除草で、
あなたの田んぼを守ります。

水稻用一発処理除草剤

アルファプロ[®]

L豆つぶ[®] 250



三井化学アグロ株式会社

アルファプロは三井化学アグロ(株)の登録商標です。
豆つぶはクミアイ化学工業(株)の登録商標です。

アルファプロ剤の特長

- 新規有効成分「フェノキサスルホン」により2.5葉期までのノビエに効果を示し、またノビエや一年生広葉雑草(コナギ・アゼナ等)に長期残効を示します。
- 有効成分「プロモブチド」を10アールあたり90g 配合し、抵抗性イヌホタルイにも安定した効果を示します。



豆つぶ製剤の特長

- 【とにかく軽い!】 10アールあたり使用量250g。1キロ粒剤の4分の1の重さで済みます。
- 【粒が大きい!】 粒径5mmほどの大粒な製剤のため、風によるドリフトの心配が少ないです。
- 【よく広がる!】 自己拡散性に優れるため広がりやすく、有効成分が均一に拡散します。
- 【まき方が多彩!】 多彩な散布方法から選べるため、あらゆる圃場に適しています。



適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ	移植後3日～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	250g/10a	1回	湛水散布、湛水周縁散布 又は無人航空機による散布
直播水稻	ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布 又は無人航空機による散布

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：フェノキサスルホン…2回以内、プロモブチド…2回以内、ベンスルフロンメチル…2回以内

△使用上の注意事項

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期までが本剤の散布適期です。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなってください。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁散布を避け、本田内で、水田全面に散布してください。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田および漏水田(減水深が2cm/日以上)
 - ②軟弱苗を移植した水田
 - ③極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
 - ④植穴の戻りの悪い水田
- 直播水稻に使用する場合、以下の点に注意してください。
 - ①発芽直後の稲に対して葉害を生じるおそれがあるので、適切な覆土をおこない、稲の根が露出した条件では葉害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - ②稲の根が露出した条件では葉害が生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - ③除草効果の低下と生育抑制の葉害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
- 散布後に低温傾向が続くと予想される時には、雑草に対する効果が劣ることがあります。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤は吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください。
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
 - ①散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ②専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - ③事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリノ開度を調整してください。
 - ④散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。本印刷物は2018年11月7日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

- 使用前には、ラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。



三井化学アグロ株式会社

東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>

APM1M1LA